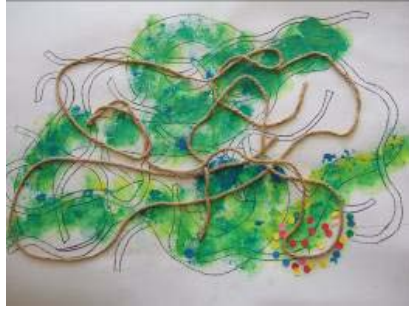


教材教具名 触れる絵本

教科（国語・数学）

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい

自分の好きな色彩や模様に見線（視線）を合わせることを利用して、絵本の中に出てくる食べ物の名称を意識させたり、触ることで様々な感触を楽しんだりすることができるようにする。

2 発達段階など

笑顔で交流が育つ時期～模倣・指差しを獲得する時期

感覚を通して外界とのかかわりを広げる時期

3 使い方

- ・自分の好きな色彩や取り組むことが可能な技法を使って、動物を描き、食べ物を作る。（特別な素材の部分は後から、教師が製作し張りつける。）
- ・水玉の模様に視線を合わせられるように教師がことばかけをする。
- ・教師が食べ物の名称をいいながら、水玉模様の中の食べ物を触って感触を楽しむ。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

自分の好きな色彩や水玉模様には、視線を合わせることができる。現在、絵本を作成中であるが、今後もページを増やしながらか様々な素材を触り、感触を楽しめるようにしたい。
暖かい素材や冷たい素材など温度の違う感触や、できれば本物の食べ物と同じ素材の感触を味わえたらよいと思う。